

龍馬脱藩の道
〜英雄へと導いた維新への道〜
今回の旅は、幕末の英雄・坂本龍馬が土佐藩を脱藩した際に歩いた道やゆかりの場所を紹介させていただきます。そこには、綺麗に整備された場所もあれば昔のままの険しい山地もあり、ちょっとした冒険が私たちを待っています。激動の時代を駆け抜けた龍馬に思いを馳せ、脱藩の旅にいちごっこ〜！

取材／写真 眞鍋本拓也 藤井沙弥香 若原沙良 新谷洋一

文久2年(1862年)3月24日、28歳で脱藩を決意した坂本龍馬は、坂本家の沢村惣之丞とともに坂下を出発した。

1 和霊神社 高知城下でも家商であった才谷屋は、坂本家の本家になり、現在その跡地の一角には喫茶店があります。

坂本龍馬

2 吉村虎太郎生家 津野町役場西庁舎近くの高台には、坂本龍馬よりも先に土佐を脱藩した維新の志士(吉村虎太郎)の家が故郷の津野町を見守るように建てられています。そこから車で5分程のところには、虎太郎の生家が復元されており、虎太郎の生涯の説明や貴重な資料も展示されています。風が通るとどこかで、時間忘れてゆくと聞こえます。入場料無料で、予約制で昼食の提供も行っております。

3 那須俊平・信吾邸跡 那須俊平・信吾邸跡は現在の太郎川公園の草むき民家前より、龍馬脱藩の道が橋原方面へ25分ほど歩いた所にひっそりあります。その跡地は高知城下を脱出した龍馬が一泊を過ごした場所となります。土佐一の槍の名手と言われた那須俊平は子の信吾と共に翌日、龍馬を護衛し龍馬が峠まで同行脱藩の手助けをしようとされています。

4 旧掛橋和泉邸 幕末には遠近の同志がよく立ち寄り時局を談じたといわれ掛橋和泉は神職でありながらも脱藩する同志を支援していたそうです。拝観料無料

掛橋和泉

5 維新の門群像(大志士の巻) 橋原町にゆかりのある大志士、この地を通過して脱藩した坂本龍馬、沢村惣之丞を併せた八人の銅像が建立されており、橋原という場所が時代の変わる1つのきっかけとなりました。

6 三嶋神社 脱藩の坂本龍馬が参拝したとも言われる三嶋神社へと続く木製の橋で、使用されている木材は橋原産のものが使われています。橋の入り口から三嶋神社を望む景色は、まるで別世界への入り口のような神秘的な雰囲気漂っています。

7 宮野々間所 宮野々間所は、嘉永6年(1629年)に設置され明治の初めまで片岡氏が世襲の番所役人を勤め、通行者を検問した所です。龍馬脱藩の際もこの近くを通過していたといわれています。

8 茶や谷茶堂 橋原には古くから遠くから訪ねくる者は厚遇すべしという客人(まごころ)信仰が受け継がれております。当時より茶堂は旅人を茶菓子でもてなす場と共に、文化交流、情報交換の窓口として重要な役割を果たしてきています。現在橋原には13箇所の茶堂が保存されていますが、なかでも茶や谷の茶堂は長宗我部時代、地蔵にも祀られている大変古い茶堂です。龍馬が脱藩の道に橋原を選んだ理由として、旅人を大切にしている独自の風習が影響しているかもしれませんね。

9 蕪が峠 蕪が峠は、高知県と愛媛県の県境にある峠です。文久2年(1862年)3月26日昼頃に坂本龍馬、沢村惣之丞、那須俊平、那須信吾は蕪が峠に着いたといわれています。この峠を越えれば脱藩となり、監視に見つかれば命を落とすこともあり得る危険な場所となります。

前田紫馬

中平龍之助

沢村惣之丞

吉村虎太郎

細で採れた野菜を中心としたランチで見た目もオシャレで写真映えもバッチリ！手作りのパン・シュクリュームも大人気！

県境には、龍馬の足跡が！

峠近くには、綺麗な公衆トイレもあります。

その行程の険しさが感じられます。

三嶋神社より続く脱藩の道からは、

【Dapan(だっぱんや)】
■駐車場:近隣3台程度
■定休日:月火水木
(事前予約で対応頂けるかも)

1 和霊神社 高知城下でも家商であった才谷屋は、坂本家の本家になり、現在その跡地の一角には喫茶店があります。

坂本龍馬

2 吉村虎太郎生家 津野町役場西庁舎近くの高台には、坂本龍馬よりも先に土佐を脱藩した維新の志士(吉村虎太郎)の家が故郷の津野町を見守るように建てられています。そこから車で5分程のところには、虎太郎の生家が復元されており、虎太郎の生涯の説明や貴重な資料も展示されています。風が通るとどこかで、時間忘れてゆくと聞こえます。入場料無料で、予約制で昼食の提供も行っております。

3 那須俊平・信吾邸跡 那須俊平・信吾邸跡は現在の太郎川公園の草むき民家前より、龍馬脱藩の道が橋原方面へ25分ほど歩いた所にひっそりあります。その跡地は高知城下を脱出した龍馬が一泊を過ごした場所となります。土佐一の槍の名手と言われた那須俊平は子の信吾と共に翌日、龍馬を護衛し龍馬が峠まで同行脱藩の手助けをしようとされています。

4 旧掛橋和泉邸 幕末には遠近の同志がよく立ち寄り時局を談じたといわれ掛橋和泉は神職でありながらも脱藩する同志を支援していたそうです。拝観料無料

掛橋和泉

5 維新の門群像(大志士の巻) 橋原町にゆかりのある大志士、この地を通過して脱藩した坂本龍馬、沢村惣之丞を併せた八人の銅像が建立されており、橋原という場所が時代の変わる1つのきっかけとなりました。

6 三嶋神社 脱藩の坂本龍馬が参拝したとも言われる三嶋神社へと続く木製の橋で、使用されている木材は橋原産のものが使われています。橋の入り口から三嶋神社を望む景色は、まるで別世界への入り口のような神秘的な雰囲気漂っています。

7 宮野々間所 宮野々間所は、嘉永6年(1629年)に設置され明治の初めまで片岡氏が世襲の番所役人を勤め、通行者を検問した所です。龍馬脱藩の際もこの近くを通過していたといわれています。

8 茶や谷茶堂 橋原には古くから遠くから訪ねくる者は厚遇すべしという客人(まごころ)信仰が受け継がれております。当時より茶堂は旅人を茶菓子でもてなす場と共に、文化交流、情報交換の窓口として重要な役割を果たしてきています。現在橋原には13箇所の茶堂が保存されていますが、なかでも茶や谷の茶堂は長宗我部時代、地蔵にも祀られている大変古い茶堂です。龍馬が脱藩の道に橋原を選んだ理由として、旅人を大切にしている独自の風習が影響しているかもしれませんね。

9 蕪が峠 蕪が峠は、高知県と愛媛県の県境にある峠です。文久2年(1862年)3月26日昼頃に坂本龍馬、沢村惣之丞、那須俊平、那須信吾は蕪が峠に着いたといわれています。この峠を越えれば脱藩となり、監視に見つかれば命を落とすこともあり得る危険な場所となります。

前田紫馬

中平龍之助

沢村惣之丞

吉村虎太郎

細で採れた野菜を中心としたランチで見た目もオシャレで写真映えもバッチリ！手作りのパン・シュクリュームも大人気！

県境には、龍馬の足跡が！

峠近くには、綺麗な公衆トイレもあります。

その行程の険しさが感じられます。

三嶋神社より続く脱藩の道からは、

【Dapan(だっぱんや)】
■駐車場:近隣3台程度
■定休日:月火水木
(事前予約で対応頂けるかも)

SUMIYOUは、高知に住みゆう、人と街とのつながりを応援します。

アパマンショップ KOCHI HOUSE <http://www.kochihouse.co.jp/>

My one Culture vol.15

「伊尾木洞」
私のオススメは安芸市にある伊尾木洞。洞穴はひんやり涼しく、夏にぴったりです。洞穴を抜けるとコケとシダに覆われ、まるでジブリの世界のような空間。さらに足元に注意しながら奥まで進んでいくと小さな滝も見られ、マイナスイオンたっぷりで癒されます。伊尾木洞は多くの種類のシダがカ所に生息する大変珍しい場所のため、国の天然記念物にもなっています。ぜひ神秘的なワースポット巡りに行ってみませんか。

総務経理課 高芝 あずさ

お客様へ一言
総務や採用、研修などを担当。社員の働く環境を整えたりと、高知ハウスを影からサポートしています！

スタッフのお気に入りをご紹介

NEW OPEN

あなたにあった、あなたのためのカラダアシスト。

NEW OPENにつき
●セットの場合、◆の料金が特別に半額になります。
ぜひお試しください。
(例)整体コース30分+冷え症改善コース=4,500円

整体コース

- 30分.....3,000円
- 45分.....4,000円
- 60分.....5,000円
- 90分.....7,000円

ラジオ波コース

- ◆冷え症改善コース.....3,000円
- ◆むくみ解消美脚コース.....3,500円
- ◆たるみ解消細腕コース.....4,000円
- ◆ストレス解消コース(眠りが浅い、イライラなど).....4,500円
- ◆ダイエットコース(お腹から背中にかけて).....5,000円

※料金は税別表記

780-0062 高知市新本町2丁目7-20 ルネ新本町103号
OPEN:10:00-19:00【木・日は10:00-14:00まで】 月曜定休日
ご予約・お問い合わせ tel 088-881-0189

今年もセールはじまりました。高知ハウス

検索